

# 読もうかな♪



QRコードにアクセス！  
アンケートにご協力ください！

令和5年6月23日発行 (No. 01) 発行元：ぐんま男女共同参画センター  
開館日：火曜日～日曜日 (月曜休館) 午前9時～午後5時  
5冊まで借りられます！ (期間は2週間)  
初回ご利用時は、運転免許証などの身分証をご用意ください。  
閉館時の本の返却には、正面玄関横のポストをご利用ください。  
〒371-0026 前橋市大手町 1-13-12  
TEL：027-224-2211

文庫・新書



(内容紹介)  
男性育休義務化の法制化の現場近くにいた著者からみた、法案整備の裏話込みテキスト的一冊。  
いかにして《男性育休「義務化」》という言葉と発想が生まれたか。  
これをなんとしても日本の常識にするのだという、いい意味での突っ走り感を感じる一冊。

《男性育休100%宣言》  
《何とか最速のスピードで末端まで知らしめることはできないかと考え》、  
《「男性の育児参画を応援します！」  
というような漠然とした宣言ではなく、  
100%という定量的なワードにしました。》  
実現のための行動と熟慮と伝え方の工夫として読める。

書名 『男性の育休  
家族・企業・経済はこう変わる』  
著者 小室淑恵・天野妙【著】  
発行 株式会社PHP研究所 (2020年)

この本には、《ワーク・ライフパニック》という言葉も出てくるよ。

《女性が「育児も完璧にやり遂げながら社会進出も果たす」という「女性のスーパーウーマン化」によって支えられた女性活躍」における、  
《母親がギリギリの綱渡りを一人でこなす》様子。  
《活躍すればするほど疲れていくという様子》。

ワーク・ライフバランス！

来館して  
ぐんまちゃんマスクをもらおう！

イラストブック



書名 『くらべてわかる世界地図③  
ジェンダーの世界地図』  
著者 藤田千絵【編】 /  
菅原由美子+鈴木有子【著】  
発行 株式会社大月書店 (2004年)

(内容紹介)  
地図とイラストと数字で、  
男女に関するいろんなテーマを  
見開きで紹介する一冊。

発見！こういう男女比や、ああいう男女の違いもあるのか。

《小学校に通う子供の数に男女差がある。》  
《オリンピックの女性選手は年々増え続け、日本の出場選手数は男女が逆転した。》

アテネオリンピックの頃に発売された本なので、それから19年経った今はどうなっているかなと気づくのにも役立つね。

世界地図の中で、日本だけ、近隣諸国とは色が違っているように見えたりするテーマも。

“距離の近さ”と“意識の近さ”は、同じではない  
のかもしれない。その理由を想像してみると…